



菅波 茂

第2回沖縄平和賞を特定非営利活動法人アムダがいた

沖縄平和賞選考委員会より「医療技術集団」としての特定非営利活動法人AMDAのこれまでの世界的な活動は、専門知識と技術に特化し、AMDAが確固たる人道支援のあり方を確立してきたことを高く評価する。また、AMDA沖縄支部が1995年に設立され、その活動から今後も医療支援を必要としている世界の人々のために、沖縄から多くの人材が参加し、沖縄発の高い知識と技術に裏付けされた活動を通じ、地域の安定と人間の安全の確保に寄与するものである」とのコメントをいただきました。有り難い限りです。

AMDAが世界の平和を実現するためにさまざまなプロジェクトを実施する理由は

「多様性の実現」にあります。すなわち、物の見方や考え方が異なる人達が、民族・宗教・文化などを超えて共栄共存するために、「尊敬と信頼」の人間関係が不可欠と考えているからです。プロジェクトを共に

実施する過程において、自分にならずばらしさを相手に見た時に尊敬の念が生じますし、どんなに困難が大きいからといって相手が決して逃げない時に信頼の念が生じます。こうしたパートナーシップの世界的なネットワークこそ「多様性の共存」を可能にし、世界各地の紛争解決に寄与できると信じています。そして問題解決の基本は現地への価値観を優先するローカルイニシアチブです。

AMDAがめざす「多様性の共存」の視点から沖縄には注目すべきことが二つあります。最初は沖縄から海外への移民の方々です。多民族・多

## 第2回沖縄平和賞をいただいて

宗教・多文化の壁を超えた成功モデルです。中南米で多発する地震やハリケーンの被災者に対するAMDAの緊急救援活動や貧困に対する社会開発活動は、沖縄にルーツをもつ日系人の方々が中心となって活動しています。AMDA沖縄県支部（大仲良一支部長）からは中南米の緊急救援活動のために医師や看護師などの人材を派遣してもらっています。沖縄と中南米に住む沖縄の人を結ぶ血縁共同体社会の絆の強さを中南米の緊急救援活動のために実感させられました。沖縄平和賞の受賞の喜びを、AMDAの中南米における人道支援活動を支えてくれている沖縄日系人の方々とAMDA沖縄県支部の皆様と共に分かち合いたいと思えます。

二つ目は摩文仁の丘にある平和の礎です。第二次世界大戦における沖縄戦で亡くなった方々への敵味方を問わぬ慰霊により、恒久平和を願っておられることです。世界で初めての平和へのコンセプトをもった戦争記念碑だと思います。AMDAにも同じようなプロジェクトがあり、トとして敵対する双方に公平に医療支援を行い、和平を構築することを実施してきました。過去においてはアフガニスタン、旧ユーゴスラビアにおいて、現在は約20年間に及ぶ紛争に停戦合意したスリランカで昨年より敵対していた3グループの地域でそれぞれに医療支援プロジェクトを実施しています。

最後になりましたが、沖縄平和賞の趣旨である「沖縄世界平和イニシアチブ」にAMDAの活動が少しでも寄与できるようにますます精進を重ねたいと考えています。皆様方の温かいご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。(アジア医師連絡協議会代表)